

個人参加公共施設見学

☎ 広報広聴課 55-2700

コース

市役所 くすの木学園 こども療育センター 社会福祉センター-広見荘 デイサービスセンター 美原 養護老人ホーム駿河荘 市役所

とき 6月29日(火) 9:00~15:10

対象 市内在住・在勤の人

定員 20人(応募者多数の場合、今年度初めての人を優先し、抽せん)

持ち物 昼食、水筒、雨具、筆記用具など
参加費 無料

申し込み はがきに、参加する人の住所、氏名、年齢、電話番号(1枚のはがきで2人まで申し込みできます)「6月29日見学希望」を記入し、〒417-8601 富士市役所広報広聴課「公共施設見学」係へ(6月8日の消印有効)

お子さま連れで参加希望する人は、申し込み前にお問い合わせください。

富士市ごみマイスター 育成講座参加者

☎ 廃棄物対策課 55-2769

ごみの専門家としての知識を習得し、地域で助言者役として活躍していただきます。

とき 7月~11月の計10回

対象 平日昼間に確実に参加でき、富士市のごみ処理について関心のある人で、受講後は「ごみマイスター」として地域の専門家・指導者として活躍ができる人

定員 20人

受講料 無料

申し込み 6月20日までに、はがきまたはFAXで郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、各種モニター経験の有無を記入し、〒417-8601 富士市役所廃棄物対策課へ

☎51-0522



就職相談を実施します

☎ 商業労政課 55-2778

県の再就職アドバイザーが就職相談を行います。

とき 6月から 毎月第1水曜日 9:00~16:00(その日が祝日の場合は第2水曜日)

ところ ラ・ホール富士1階相談室
内容 キャリアカウンセリング、再就職についての助言、求職の心構え、面接の注意点、提出書類の書き方、求人情報の活用方法など

対象 求職者全般(特に就職先がなかなか決まらない人)

相談料 無料

難病患者総合相談会

☎ 保健福祉センター 64-8993

とき 6月13日(日) 12:30~14:00受付
ところ フィランセ西館1階

内容 専門医師などによる無料相談
対象疾患 潰瘍性大腸炎、下垂体機

能障害、クローン病、膠原病、再生不良性貧血、小児心臓病、てんかん、脊髄小脳変性症、特異性拡張型心筋症、特異性血小板減少性紫斑病、ALS、橋本病、パーキンソン病、慢性腎疾患、リウマチ、甲状腺機能障害、病名が確定されていないが気になる身体症状のある人、整形外科、内科、心療内科など

申し込み 当日直接会場へ

問い合わせ 富士市難病団体連絡協議会 泉方 ☎61-8749

看護学校等進路説明・相談会

☎ 中央病院看護部 52-1131 内線2207

看護学校についての説明、県内各看護学校(大学・短期大学・専門学校)による個別相談を行います。

とき 6月26日(土) 13:00~16:00

ところ 三島市立社会福祉会館
対象 高校生、看護師資格取得を考えている学生・社会人

申し込み 当日直接会場へ

問い合わせ (社)静岡県看護協会静岡県ナースセンター ☎054-202-1761

第1回 手すき和紙体験

~うちわづくり~

☎ 市立博物館 21-3380

とき 6月6日(日) 9:30~12:00

ところ 市立博物館北側実習室

定員 20人(先着順)

参加費 500円

持ち物 エプロン、タオル

申し込み 当日直接市立博物館へ

世界昆虫博 in Fuji 7月21日~8月15日 ロゼシアター展示室

第3話 蝶と蛾の違いは?

昆虫展の会場がよく聞かれるのが、この質問です。蝶と蛾は、分類の上では鱗翅目という同じ仲間、世界じゅうに蝶が約1万8,000種類、蛾はこの15倍の種類があるとされています。

蝶と蛾の違いについて、一般的には

蝶は昼間に活動するが、蛾は夜に活動する
蝶は羽を立ててとまるが、蛾は羽を広げてとまる
触覚の先端が膨らんでいるのが蝶で、そうでないのが蛾である

蝶の幼虫はアオムシだが、蛾の幼虫は毛虫であるなど、さまざまなことが言われています。

しかし、どれにも例外がたくさんあり、結論としては、蝶と蛾を区別する絶対的な基準はありません。

少し難しくなりますが、蛾の後翅肩脈が羽から突き出ているのを見つけて、「決定的な違いを発見!」と喜んだことがあります。これにも例外があって、残念ながら蝶と蛾を区別する決定打にはなりません。



タイワンタイマイ(蝶)

しかし、このように明確な区別の基準はないものの、蝶と蛾では人気に大きな差があります。蛾は色彩が地味で、太い胴体、加えて体毛が目立つことから、悪いイメージがあり、それに対して、色彩豊かで、陽光を浴びて軽やかに花々を訪れる蝶は好まれ、また衣装や装飾品のデザインにもよく使われるなど、蝶の人気が高いことは仕方ないことなのでしょう。(著:安曇野蝶類研究所 塚田悦造)

☎ 生涯学習課 55-2873